

天候の急変に気をつけて、命を守る行動を心がけましょう

今月8日に九州北部地方の梅雨入り宣言が出されました。例年より4日遅く、昨年より9日早い梅雨入りとなりましたが、梅雨入り直後から、梅雨の末期を思わせるような大雨となりました。今後は、雷の心配もされるところです。本校区は、河川の氾濫といった心配はないのですが、坂道も多く、まとまった雨が降ると、排水が追いつかず、路肩や歩道まで水があふれてしまう場所が数か所あります。また、大雨時は視界も悪く、交通事故の可能性も高まりますので、十分に気をつけてください。

大雨の場合は、注意報↓警報↓特別警報といった段階で注意喚起がされますが、雷の場合は「注意報」のみです。遠くで雷の音が聞こえたら、すぐに屋内に避難するといった行動をしましょう。学校では、これから水泳シーズンとなりますが、天候の急変にも速やかに対応していきます。

先日も安心メールで送付した、災害発生・警報発令等に伴う臨時措置について、再度ご確認くださいませますようお願いします。



～今回の主な記事～

- ◆梅雨入り 大雨・雷に注意
天候の急変に気をつけて、
命を守る行動を心がけましょう
～警報発令時の対応について～
- ◆認知症の方を6年生が勇気をもって保護
- ◆水泳指導開始

1 警報(暴風、大雨、洪水、大雪等)の発令が予想される、または発令されたとき

- (1) 台風の場合…基本的に前日の内に登校について判断
- (2) 大雨、洪水、大雪等…当日の朝「特別警報」「避難指示」が出ている場合は、自宅待機。その後午前7時を目処にその後の措置を連絡
- (3) 大雨、洪水、大雪等…当日の朝「警報」が出ていて特別な対応をお願いする場合は、午前6時30分以降に教育委員会から各校へ連絡

2 登校後に警報が発令されたとき

登校後、警報が発令されたときには、その後の気象状況を考慮し、安全に帰宅させることができると判断した場合には、速やかに一斉下校させる。一斉下校に係る、保護者への引き渡し方法については、訓練時に行った場所や方法で実施

認知症の方を6年生が勇気をもって保護

先日、地域の民生委員の方から連絡が入りました。内容は次のとおりでした。

- ・高齢で認知症のおばあさんが、昔校区に住んでいたことで徘徊していた。
- ・本校6年生の男児が気づき、高校生の兄と一緒に30～40分間おばあさんを保護・ガードしてくれた。
- ・最終的に、警察に保護されてことなきを得た。

見ず知らずの認知症のおばあさんにもかかわらず、優しく対応してくれたということだったようです。

水泳指導開始

今週から各学年で水泳の指導が始まります。塗装工事も終わり、今年はきれいなプールで泳ぐことを楽しみにしているようです。ただし、命にかかわりますので、体調不良時は絶対に泳がせないでください。また、プールのカードがないと入水できませんので、水泳のある日は必ず提出をお願いいたします。

